



## ◇ 今回は、村山智美さん（金沢大学人間社会学域法学類）。ボート部で大活躍です！

突然ですが、みなさんは「大学生活」と聞いて、どのようなことを思い浮かべますか？  
今の時点で、大学に行ってやりたいことが明確な人もいれば、全く想像がつかない人もいます。  
人生でたった1度きりの大学生活、どうせなら後悔のないように過ごしたいですよね？

おそらくみなさんが想像しがちな「バイト、サークル、遊び…」といった一般的な大学生と比べて、わたしはかなりアグレッシブな大学生活を送っているという自負があります。

本寄稿では、わたしのこれまでの大学生活を振り返りながら、わたし自身の想いや、充実した大学生活を過ごすために大切にすべきことについて綴っていきます。「こんな人がいるんだ～」ぐらいの気持ちで、少しでも興味をもって読んでいただけたら幸いです。

### 何かひとつのことに、本気で打ち込む。

実は高校時代、勉強の忙しさを言い訳にして、気になっていた部活への入部を諦めてしまったという後悔がありました。だからこそ大学では、自分がやりたいと思ったこと全部をやってやろうと決めていたんです。大学に入ってすぐに、目標に向かって一心に努力をしている先輩方の熱い姿に惹かれて、体育会ボート部に入部しました。毎日朝4時に起きて練習をして、その足で学校に行き授業を受け、放課後はまっすぐ部活に向かうという日々は、運動と無縁だったわたしにとってはなかなかキツイものでした。それでも、「ライバルに負けたくない」「もっと強くなりたい」という一心で日々練習を積み重ね、地区大会で優勝を遂げたこともありました。

ボート部を引退するまでの2年半の間で、思うように結果が出ずに悩んだり苦しんだことがたくさんありました。それでも、目標達成のために、チームで一丸となって本気で取り組むことによって結果を出せたという成功体験は、今の自分の自信に繋がる大切なものであったと胸を張って言えます。

### 様々な場所に行って様々な人と出会うことで、視野や知見を広める。

みなさんの中で、「自分がやりたいことや興味があることが分からない」ということで悩んでいる人は、きっと少なからずいるのではないのでしょうか。

わたし自身も、高校の時から「将来やりたいことって何？」という問いを投げかけられたとき、上手く答えられずにいました。大学に入ってから、就職のことも考えなきゃいけないのに、自分のことも社会のことも分からないことだらけで、とにかく将来が不安でしかたがありませんでした。でも、「頭の中で悩んでいるだけでは、現状は何も変わらない」ということに気づいてから、様々な場所に赴いて、多くの人の話と出会うことを心掛けました。学生で起業した人や、自転車で日本を横断した人、フリーランスの人など、今まで自分が出会ったことがないような人と出会ったり、時には金沢から東京や大阪までセミナーに行ったりもしました。行動を起こしたことで、社会のしくみや多様な生き方があることを

自分の目で見ることができたからこそ、「じゃあ、その中で自分はどう生きていきたいのか」という問いに対する解を、前より明確に持てるようになりました。

やりたいことが分からなかったり、将来が不安だという人は、「とりあえず何でもやってみる」ぐらいの姿勢で小さなことから行動を起こしてみると、今まで見えなかったことが見えてくると思います。

## **気になったことは何でも挑戦してみる。経験を積み重ねる。**

もともと好奇心旺盛なこともあり、わたしは今までの大学生活で、少しでも自分が気になることややってみたいと思ったことがあったら何でも挑戦してきました。短期留学、アルバイト、NPOでのボランティア、学生団体の運営など雑多諸々やってきました。そして現在は「勉強を教えない学習塾」でインターンシップをしつつ、自分でスモールビジネスに挑戦中です。

大学生の特権のひとつとして、能動的に時間を作り出さなくても自由な時間が多いことだと思うんです。「大学生は人生の夏休み」という言葉もありますよね。ありあまるほどの自由な時間を全てアルバイトに割いて、好きなモノを買いまくることも確かにしあわせかもしれません。あくまで考え方は人それぞれですが、わたしは大学生の今だからこそ、いろいろなことに挑戦したり多くの経験を積むということも、しあわせの定義のひとつだと思います。失ったお金は大学を卒業してからも稼いで取り戻すことができますが、その時にしかできない経験を逃したら、人生で二度と取り戻すことはできません。一度きりしかない大学生活で、自分が少しでも興味を持てることや心から楽しいと思えることを極めることに時間を費やしてこそ、今後の人生の糧ともなる学びや経験を得ることができます。

## **さいごに。**

ここまでいろいろと綴ってきましたが、4年間の大学生活なんて長いようで本当にあっという間です。わたし自身も、あと数か月で社会人になることに驚きを隠せません。

4年間という期間を、生かすも殺すも自分次第です。後悔のない大学生活を送るために、周りの意見に流されるのではなく、「自分はどうしたいのか」ということを常に自分自身に問いかけてみてください。そして、自分の直感や想いに素直になって、小さなことから行動を起こしてみてください。

人は、自分の進路や生き方を自分で決めるからこそ、覚悟を持つことができ、全力で取り組もうとします。全部自分次第だから、楽しいのもしんどいのも全部自分のせいになる。誰のせいにもできない。だからこそ、その時間をより有意義にしようと懸命になれるのです。

偉そうに語ってきましたが、わたしもまだまだこれからです。社会人になっても、自分の想いに素直でありたいし、全力で生きつづけていきます。

みなさんの悩みや葛藤と向き合う姿勢や日頃の努力が実を結んで、充実した大学生活を送れることを願っています。



**ボート部の写真。大会でラストスパートを漕いでいるときです。(写真左)**



**熱量のある大学生や社会人が集まって、自分の夢や今頑張っていることについて語りあう会。(中列右から二人目)**





**インターン先の社員・同期と。最高の仲間です！**